

# 日本聖書神学校 神学基礎講座

## 2026年度開講科目

### 前期

- 礼拝学
- キリスト教史Ⅱ

### 後期

- 教会音楽
- キリスト教と文学
- 日本キリスト教史



受講資格： すべての教会信徒に開かれています

(正規の神学校のカリキュラムの一部を開放するものです)。

※教職者の方はご遠慮ください。

定員： 若干名(定員になり次第締め切ります)

申込〆切： 前期科目 2026年3月30日(月) 後期科目 2026年8月31日(月)

申込方法： 受講申込書に必要事項を書き込み、下記宛先まで郵送・FAX・Emailにて送付してください。神学基礎講座ホームページのフォームからもお申し込みいただけます。

受講料： 1科目 15,000円

※お申し込みいただいた後、振込用紙をお送りいたします。

申込および問い合わせ： 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16

日本聖書神学校 神学基礎講座係 Email: kyomu@jbts.ac.jp

☎ 03-3951-1101 FAX03-3951-3044

# 2026 年度神学基礎講座開講科目・日程表

## 2026年度 神学基礎講座日程表(前期)

講座	曜日	時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
●礼拝学	月	18:50-20:20	4月13日	4月20日	4月27日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	6月22日	6月29日	7月6日	7月13日	*7月13日
●キリスト教史Ⅱ	火	19:55-21:25	4月7日	4月14日	4月21日	4月28日	5月12日	*5月19日	5月26日	6月2日	6月9日	6月16日	6月23日	6月30日	7月7日	7月14日

\*5月19日(火)は短縮授業(ペンテコステ立証祈禱会のため)

通常19:55-21:25の授業 ⇒ 19:35-20:50

\*7月13日(月)は第14回目の授業を3限(20:30~22:00)に開講します。

## 2026年度 神学基礎講座日程表(後期)

講座	曜日	時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
●教会音楽	水	18:15-19:45	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	1月6日	1月13日	1月20日
●キリスト教と文学	木	18:15-19:45	9月17日	9月24日	10月1日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	1月7日	1月14日	1月21日
●日本キリスト教史	木	18:15-19:45	9月17日	9月24日	10月1日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日	1月7日	1月14日	1月21日

\*10月8日授業無し

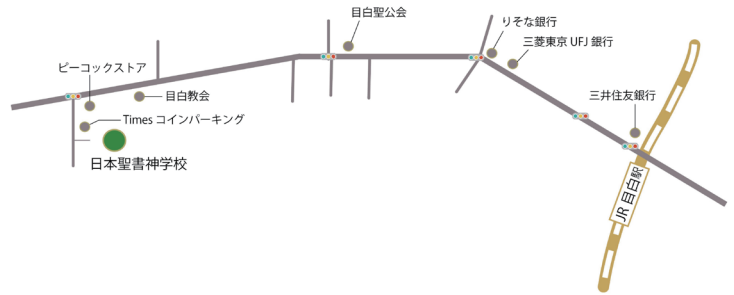
(注)休講等により授業回数・授業日時が変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 受講予定の方へのお願い

- 図書館の利用について・・・講義の空き時間や待ち時間に本校図書館を利用される方が多くいらっしゃいます。本校図書館は、すべての教会信徒の方に開放されておりますが、最初に利用登録が必要となりますので、初めてご利用される方はカウンターで予め利用登録(年間2,000円)をお願いいたします。
- 講義の休講について・・・講師の都合等によってやむを得ず休講になる場合があります、受講回数が増える場合もございますので、予めご了承くださいませようお願い致します。また、補講が行われる場合もあります。
- 受講者の皆さんのレターボックス・・・様々な連絡のために用います。校舎1Fの奥に用意しました。
- 多くの科目には、レポートや試験があります。ただし、単位認定はありません。

### アクセス

JR 目白駅より徒歩約 10 分



〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16

☎ 03-3951-1102 FAX03-3951-3044

Email: kyomu@jbts.ac.jp

担当：  
荒瀬牧彦 教授

講義日程：4月13日、4月20日、4月27日、5月11日、5月18日、5月25日、6月1日、6月8日、  
6月15日、6月22日、6月29日、7月6日、7月13日、7月13日(20:30-22:00)の全14回

大きな流れとしては、学校礼拝の司式オリエンテーションから始め、次に、主日礼拝の構造と動きについて基本的なことを学ぶ。その後、初期教会から現在に至るまでの礼拝の歴史を概観し、教会暦・聖書日課と sacrament について考える。以上と並行して、神学校礼拝の一回を担当し、特別な主題のための礼拝をデザインし、リードするという実践を通じた学びを行う。

### 講義計画

1. 参考文献の説明・課題の説明・学校礼拝の司式オリエンテーション
2. 自らの礼拝史を考える・キリスト教礼拝の特質
3. 礼拝の構造と動き（前半）
4. 礼拝の構造と動き（後半）
5. 礼拝の歴史① 旧約・新約における礼拝
6. 礼拝の歴史② 初期教会
7. 礼拝の歴史③ 古代から中世へ・学校礼拝のデザイン
8. 礼拝の歴史④ 宗教改革（ルター）
9. 礼拝の歴史⑤ 宗教改革（改革派・再洗礼派）
10. 礼拝の歴史⑥ 新しい礼拝伝統の出現（1）・学校礼拝のデザイン
11. 礼拝の歴史⑦ 新しい礼拝伝統の出現（2）・学校礼拝のデザイン
12. 教会暦と聖書日課
13. sacrament の理解
14. プロテスタント礼拝の未来・リタージカルフォーメーション目指して

### 教科書・参考書

#### 【教科書】

『聖書』 ※いつでも参照できるよう手許に用意しておいてください。

『神の民の礼拝 2025 カンバーランド長老教会礼拝書』（教室で割引価格で販売します。）

\*今橋 朗著『礼拝を豊かに 対話と参与』（日本基督教団出版局）を開講前に読んでおいてください。前提とします。授業に持参する必要はありません。

#### 【参考書】

○一回目に「参考文献表」を配布します。

ブックレポートの対象図書はその際に指示します。

○各回にレジュメと資料プリントを配布します。配布されたものはファイルして、毎回教室に持参してください。後で参照することがよくあるので。

## キリスト教史Ⅱ

火曜日 19時55分～21時25分 ※全てオンライン（ZOOM）での授業になります。

担当：

柳下明子 教授

講義日程：4月7日、4月14日、4月21日、4月28日、5月12日、\*5月19日（19:35-20:50）、5月26日、6月2日、6月9日、6月16日、6月23日、6月30日、7月7日、7月14日の全14回

「プロテスタント教会」の諸教派のルーツとなる宗教改革という出来事を学ぶことは、すなわち今立っている私たちの教会の神学を学ぶことでもあります。16、17世紀を中心に、事件や神学思想を見てゆきます。

## 講義計画

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. イントロダクション         | 9. カルヴァンの改革の展開      |
| 2. ルネッサンス            | 10. ローマ・カトリックにおける改革 |
| 3. ルターの改革 1) 95カ条の提題 | 11. イングランド宗教改革      |
| 4. ルターの改革 2) 礼拝・神学   | 12. ピューリタン革命        |
| 5. ルターの改革の展開         | 13. 正統主義と敬虔主義       |
| 6. ツヴィングリのスイス宗教改革    | 14. メソディズム          |
| 7. 再洗礼派              | 15. エキュメニカル運動       |
| 8. カルヴァンの改革          |                     |

## 教科書・参考書

## 【教科書】

フスト・ゴンサレス『キリスト教史 下巻 増補新版』新教出版社、2020年

## 【参考書】

適宜紹介する

担当：  
柴崎聰 講師

講義日程:9月17日、9月24日、10月1日、10月15日、10月22日、10月29日、11月5日、11月12日、11月19日、11月26日、12月3日、1月7日、1月14日、1月21日の全14回

明治以降の近現代詩は、聖書をどのように表現してきたのか。「近代詩の創成者」である島崎藤村、童謡「赤蜻蛉」の作詞者である三木露風から説き起こし、16名の近現代詩の担い手たちの詩群を通して、その表現に至る工夫の軌跡を探究していく。創作の過程で詩人たちが聖書に関わる姿は、時に壮絶な格闘を思わせ、時にユーモアに安堵している休息を思わせる。詩人たちが聖書に魅かれながら詩を創造するのは、聖書が登場する人物たちの内面描写に極めて抑制的であることに起因しているのかもしれない。聖書の余白から、私たちは底知れない想像力を引き出されているのである。

### 講義計画

授業1	序章	新體詩の勃興
	第1章	近代詩を開拓した先駆者たち（島崎藤村、三木露風）
授業2	同上	
授業3	第2章	「なのはな」の詩人と「ほのお」の詩人（山村暮鳥、八木重吉）
授業4	同上	
授業5	第3章	「表現する詩人」と「物語る詩人」（石原吉郎、安西均）
授業6	同上	
授業7	第4章	科学や数学に精通した詩人たち（島朝夫、高野喜久雄）
授業8	同上	
授業9	第5章	エバやマリアに共振する詩人たち（片瀬博子、塔和子）
授業10	同上	
授業11	第6章	意味場の詩人と叙物詩の詩人（澤村光博、高橋喜久晴）
授業12	同上	
授業13	第7章	四季派・叙情・童謡・牧師詩人たち（野村英夫、島崎光正、阪田寛夫、森田進）
授業14	終章	聖書の余白に贖われる pneuma の風

\*授業内容は、授業の進捗を見て、変更することがあります。

### 教科書・参考書

#### 【教科書】

『詩人は聖書をどのように表現したか』（新教出版社、2022年、定価2100円＋税）を教科書として指定します。

\*毎回の授業においては、教科書の主題・課題にふさわしいプリントを補遺として追加して渡すことがあります。

#### 【参考書】

柴崎聰著『詩の喜び 詩の悲しみ』（新教出版社、2004年、定価1900円＋税）

柴崎聰著『文学の比喩 聖書の比喩』（新教出版社、2009年、定価1900円＋税）

柴崎聰著『石原吉郎 詩文学の核心』（新教出版社、2011年、定価2200円＋税）

担当：  
大久保正禎 講師

講義日程:9月17日、9月24日、10月1日、10月15日、10月22日、10月29日、11月5日、11月12日、11月19日、11月26日、12月3日、1月7日、1月14日、1月21日の全14回

日本プロテスタント・キリスト教史について、明治以降、戦前昭和期までの教会形成、伝道展開をたどりながら、その歴史の流れを概観します。各時期の特徴的な出来事を取り上げ、そこでの諸教会の対応、個々の伝道者・神学者・信徒などの信仰・思想に触れ、単なる歴史事象としてではなく、歴史に生きた信仰のあり方に学びます。その際の注目点は「教会と国家」です。国家の宗教政策や社会潮流に、キリスト教・キリスト者がどのように対応したかを検証し、それによって日本のキリスト教の特質がどのように形成されていったかを探ります。

講義の間に、当時の著作や研究文献について受講生によるリーディングレポートをしてもらいます。

### 講義計画

9月17日	宣教師の来日と宣教の開始
9月24日	三バンドの成立
10月1日	受講生のリーディングレポートとまとめ①
10月15日	内村鑑三不敬事件と「教育と宗教の衝突」論争
10月22日	植村・海老名論争
10月29日	受講生のリーディングレポートとまとめ②
11月5日	日清・日露戦争とキリスト教
11月12日	三教会同とエキュメニズム
11月19日	明治天皇の死去とキリスト教
11月26日	受講生のリーディングレポートとまとめ③
12月3日	大正期社会運動とキリスト教思潮
1月7日	日本キリスト教の朝鮮伝道
1月14日	神社参拝とキリスト教
1月21日	受講生のリーディングレポートとまとめ④

### 教科書・参考書

#### 【教科書】

毎回、講義のレジメを用意して配付します。また毎回、参考文献を挙げます。その中からリーディングレポートをしてもらいます。

#### 【参考書】

海老澤有道・大内三郎『日本キリスト教史』（1970年、日本基督教団出版局）  
土肥昭夫『日本プロテスタント・キリスト教史』（1980年、新教出版社）  
鈴木範久『日本キリスト教史 年表で読む』（2017年 教文館）  
日本キリスト教歴史大事典編集委員会編『日本キリスト教史年表』（2006年 教文館）

## 教会音楽

水曜日 18時15分～19時45分

担当：  
荒瀬牧彦 教授  
高浪晋一 講師

講義日程:9月30日、10月7日、10月14日、10月21日、10月28日、11月4日、11月11日、11月18日、11月25日、12月2日、12月9日、1月6日、1月13日、1月20日の全14回

教会で礼拝に仕える者にとって、賛美歌の基本的な知識を身につけること、礼拝における音楽の働きについて正しい理解を持つこと、そして、自分自身がしっかりと歌えるようになることは非常に重要である。本講義では、賛美の神学的な側面や歌詞の歴史と解釈、礼拝における賛美歌の用い方等を荒瀬が受け持ち、音楽的な側面からの理解と歌唱指導を高浪が受け持つ二名体制で指導を行う

①特に、「息の使い方」を鍛錬して、「ことばを大切に歌う」ことを大切にする。②礼拝における牧師と音楽奉仕者のチームワークの重要性を学ぶため、教会音楽指導者・奏楽者のゲストを招いて、聖歌隊や奏楽に関わる現場からの声に耳を傾ける。③1月の学校礼拝（柳下明子教授説教）のデザインとリードを担い、祈りと音楽の組み立てを実践的に学ぶ。④二度の詞作ワークを行う。ワークBにおいては想定した説教に合った賛美歌を創作し、その演奏動画を期末レポートとして提出する。

## 講義計画

1. 神の言葉に仕えることとしての「歌う」行為  
教会はなぜ歌うのか 賛美歌の定義
2. 賛美歌の歴史 聖書にみる賛美、古代教会
3. 賛美歌の歴史 中世のラテン語賛美歌（グレゴリオ聖歌）
4. 賛美歌の歴史 宗教改革① ルターと会衆賛美
5. 賛美歌の歴史 宗教改革② 詩編歌
6. 賛美歌の歴史 17～19世紀の賛美歌
7. 賛美歌の歴史 日本における賛美歌の受容と発展
8. 賛美歌の歴史 ヒム・エクスプロージョン
9. 賛美歌の歴史 『讃美歌21』とそれ以降
10. 聖歌隊の役割・奏楽者との協働
11. 礼拝順序・教会暦・主題に沿った賛美歌を選ぶために
12. 『こどもさんびか』・様々な楽器の活用
13. 学校礼拝のための準備
14. 賛美歌の創作・全体の振り返り

## 教科書・参考書

## 【教科書】

『讃美歌21』、『讃美歌(1954年版)』、『こどもさんびか改訂版』、  
(その他、『賛美歌工房歌集II』など)

## 【参考書】

『讃美歌21 略解』 日本基督教団出版局  
 『讃美歌21 選曲ガイド』 日本基督教団出版局  
 原 恵、横坂康彦『新版賛美歌 その歴史と背景』 日本基督教団出版局  
 横坂康彦『教会音楽史と賛美歌学』 日本基督教団出版局  
 越川・塚本・水野編『教会音楽ガイド』 日本基督教団出版局  
 横坂康彦『新しい賛美歌作家たち』 日本基督教団出版局  
 横坂康彦『現代の賛美歌ルネッサンス』 日本基督教団出版局  
 水野・荒瀬・中道他『音楽と宣教と教会』（関西学院大学神学部ブックレット13）  
 Andrew Wilson-Dickson, *The Story of Christian Music*, Fortress  
 Paul Westermeyer, *TE DEUM: The Church and Music*, Fortress  
 Don E. Saliers, *Music and Theology*, Abingdon

- ※ 申込〆切：前期科目 2026年3月30日（月） 後期科目 2026年8月31日（月）  
※ 下記宛先まで FAX・メール・郵便でお送りください（メールの場合、本文に各事項を記していただいてもさしつかえありません）神学基礎講座ホームページの申込フォームからお申し込みいただけます。

FAX 03-3951-3044 メール kyomu@jbts.ac.jp

郵送先 161-0033 新宿区下落合 3-14-16 日本聖書神学校 神学基礎講座係

## 神学基礎講座 受講申込書

私は、日本聖書神学校主催の2026年度神学基礎講座の受講を申し込みます。

2026年 月 日

名前 ( 歳)

現住所	〒
受洗年月	年 月
所属教会	牧師名 教会 ( )
電 話	
携帯電話	
Eメール	(講師の都合などで休講になる場合の連絡先)
受講科目	